広報資料

新設特別支援学校（宇治・城陽地区）の基本設計完成
－　京都府スーパーサポートセンター（仮称）を設置　－

平成２０年５月２９日
管　理　課　414-5768
特別支援教育課　414-5834

基本構想

京都府の特別支援教育の拠点校として、多様な障害に対応し、研究・研修・相談の機能をあわせもつ府内一円の特別支援教育を牽引する学校として整備する。

併せて、市街地の立地条件を生かして、地域貢献型の開かれた学校づくりを進め、特別支援教育に関する地域のセンター機能を発揮しながら、ノーマライゼーション社会の実現に貢献する。

◎　主な教育施設

(1)　拠点校としての機能

京都府スーパーサポートセンター（仮称）の設置

①医療・心理・福祉等の専門家によるスーパーバイズ機能
②府南部の視覚・聴覚障害の子どもの就学前からの相談に対応
③特別支援学校の授業等を活用した府内教職員の研究・研修支援

(2)　施設設備等の特徴

ア　自立活動諸室（運動・療育・言語室等）の充実
―各障害に基づく種々の困難を主体的に改善・克服するための環境整備―

イ　生活学習室の充実　*―和室、洋室、調理室、便所等の室・空間をまとまりをもたせて配置、茶室を設け、宇治の伝統文化を学習―*

ウ　屋外25mプールと室内温水ミニプールの設置　*―年間を通した水泳のニーズに対応―*

エ　重度重複対応教室の設置　*―医療的ケアが必要な児童生徒に対応―*

オ　個別教室の設置　*―自閉症児等に対応―*

カ　特別教室の充実　*―音楽室・美術室等は２室、プレイルームは３室設置―*

キ　冷暖房完備の教室・床暖房（プレイルーム）　*―体温調節が困難な児童生徒に対応―*

ク　食堂・給食調理室の設置　*―O-１５７に対応したドライ方式の調理室と１２０名規模の大食堂―*

ケ　バスプラットホームの設置　*―雨天時等も濡れずに登下校―*

コ　環境・安心・安全への対応　*―屋上緑化、防犯監視カメラ設備、各トイレに緊急通報設備、既存植栽（桜等）を存続させた配置計画―*

（※アンダーラインは、保護者や府民の方々等から特に設置等の意見のあったもの。）

◎　事業概要

(1)　予　定　地　宇治市広野町丸山10（現城南高等学校敷地　約２３，８００㎡）

(2)　学校規模等

収容児童生徒数　２５０人（知、肢）
施設規模　校舎・体育館等　約15,700㎡(新築14,350㎡、改修1,350㎡)

(3)　事業計画

平成１９年度	基本設計
平成２０年度	実施設計
平成２１～２２年度	建設工事
平成２３年度	開　校

◎　その他

基本設計説明書を、関係する特別支援学校（桃山養護、向日が丘養護、南山城養護）で供覧し、意見を募る。